

じょうけい

真宗大谷派 至徳山 浄慶寺



浄慶寺住職 大塚展彦

和顔愛語 『大無量寿経』

「南無阿弥陀仏」とお念仏を称える時
私たちは、穏やかな顔、優しい言葉に
満ちた生活を頂くことができます。

新たな年を迎えて

浄慶寺門徒会会長 川嶋 正實

明けましておめでとうございます。

今年、子年です。子年は再び新しい十二支のサイクルがスタートする年です。

日本でオリンピックが開催される年でもあります。子年は新しい運気の始まりで、植物に例えると成長に向かって種子の膨らみ始める時期であり、未来への大いなる可能性を感じさせます。

又、ねずみは「ねずみ算」と言う言葉があるほど子孫繁栄の象徴です。

さて、年の始めに当り、一サイクルを遡ってみます。

本堂及び庫裏の完成が平成19年7月7日。その落慶法要は翌年の5月11日。そして前住職が10年来のおめがねの人との養子縁組となり、住職継承法要が平成24年5月19日。

今度は、ご養子の住職は独り身のため、お嫁さん捜しのはじまりです。その間には住職の研修及び任命式が京都本山で行われました。総代帯同ということで2泊3日の日程です。初日の朝は、8時半受付、前泊しての本山入りです。講義、研修、座談会等々が日程表に基き推移し、3日目、朝9時から住職・教会主管者任命式が古式ゆかしく執り行われて、23名の住職が誕生しました。

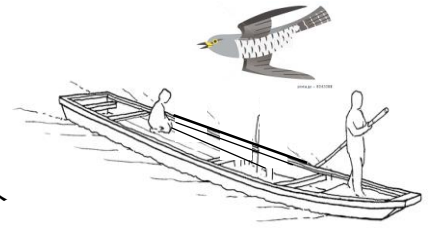
お嫁さん捜しは、結局、お近くの萬福寺さんよりご縁を頂きました。結婚式の日取りは、平成28年8月1日と決まり、挙式は浄慶寺で厳かに、披露宴はシーホークホテルで華やかに、執り行われました。平成29年4月より坊守は住職の資格を得るために九州大谷短期大学にて2年間通学され、昨春、ご卒業されました。

その頃から山門や塀などの工事が始まり、秋には竣工しましたが、永代供養墓が越年しております。

体験談

詩を吟じ、懐古の念に

門徒会会計 福元 俊久



誘われて詩吟サークルに入りました。亀井神道流といい、太宰府に本部を置く大きな流派です。

今回の吟題は、『舟中聞子規』でした。

やわたやまざき はるくれんとほつす
八幡山崎春欲暮

とけんちにないて らっかながる
杜鵑啼血落花流

いっせいはつきにあり いっせいはみず
一声在月一声水

せいりのりじん はんやのふね
声裡離人半夜舟

京都八幡山崎の辺りを舟で過ぎると、春の日も暮れて、
落花は空しく川の上を流れ、ほととぎすの悲痛な鳴き声を聞く。
その声は空からと思うと、川面からも聞こえてくる。
深い愁いを抱き一人淋しく夜半の舟に揺られて行く。

淀川を挟んで石清水八幡宮のある八幡と天王山のある山崎を背景にした七言絶句です。

山崎には、特別な思い出があります。2025年に、大阪万博開催が決まりましたが、
1970年(昭和45年)にも大阪で日本初の万博がありました。

ちょうどその時、万博会場の太陽の塔が見える千里に住み、山崎に勤めていました。
山崎は、京都から西国に向かう淀川西岸の西国街道の京都と大阪の境に位置します。
光秀が信長を本能寺に討ち、秀吉が中国大返して駆け付け光秀を討った戦場が、ここ天王山です。
天王山の麓には、サントリーの山崎工場があり、新幹線で東京方面に向かうと左側にレンガ作りの
建物が見えてきます。

水無瀬川を遡ると眼病に霊験あらたかな井戸がある柳谷観音があり、大阪平野と京都平野を一望
できます。春先には、よく霧がかかる所で、ウイスキーの製造にはうってつけの場所とのことです。

職場の隣は水無瀬神宮でした。かつては後鳥羽上皇が造営した水無瀬離宮があり、
『見渡せば 山もと霞む 水無瀬川 夕べは秋と なに思いけむ』と、春の夕暮れの素晴らしさが
詠たわれています。

JR山崎駅前には、日本最古の茶室・利休の「待庵」や山崎道安の跡もあります。

天王山麓の山崎聖天のさくらも見事です。

この詩を吟ずる度に、当時を懐かしく思い出します。

ご命日の集いへのお誘い

毎月28日には、午後1時30分より親鸞聖人のご命日のつどいを、開催しています。
親鸞聖人のご命日が28日であります処から、この日に門徒が集い正信偈を、
お勤めしています。

また、読経の練習や写経なども行い、お茶を飲みながらの語らいの時も過ごしています。
どうぞ自由に参加してみてください。

時間 13:30~16:00頃まで (※出入り自由です)

真宗（大谷派・東本願寺）への導き

《第十一回》

仏教語（その一）



阿弥陀様梵字

私達が日頃、何気なく使っている言葉の中には、仏教を起源とする言語が多くあります。その中から、いくつか紹介してみます。

縁起

『縁起』は仏教語の中で私たちに誤解されている言葉の筆頭です。例えば、朝一番のお茶に茶柱が立ったら縁起がいい。結婚祝は大安の午前中に持っていくと縁起がいい。病院にお見舞いに行くときは、鉢ものの花は根(寝)付いて縁起が悪いから切り花にするといい。などなど、数えたらきりがありません。

しかし、もともと縁起は、因縁生(いんねんしょう)とも縁生(えんしょう)ともいうように、全ての現象・事物は何一つそれ自体で成り立つものではなく、無数の関係(縁)によって生じていることを表すものです。だから、私たちが平生に、縁起がいいとか縁起が悪いとかと言っているのは、そういう存在の絶対的現実に対して、自分の都合に合うものは縁起がいいと言い、都合の合わないものは縁起が悪いと言っているということなのです。

それらは仏教でいう縁起の語を誤解して用いる使い方です。縁起とは、私の存在は、縁起として存在するのであって、私という一個の人間がそれだけで存在するのではなく、ありとあらゆるものとの繋がりの中で存在していることを表すものです。

私たちの相互共存するいのちの事実を言い当てている言葉です。

このような縁起が指し示す豊かないのちの世界に目覚めるならば、同時多発テロ、それに続くアフガニスタンへの武力攻撃に象徴される戦争などが、いかに人間の縁起的な存在であることを無視し、断ち切るものであるかを知らされることでしょう。

縁起はそうした私たちの閉鎖的、独断的な生き方を問う、仏陀が目覚めた真理の法なのです。

尾畑文正 おばた ぶんしょう・同朋大学教授 月刊『同朋』2002年2月号より

ありがとう

“ありがとう” 普段なにげなく使っている、お礼の言葉。

これも語源は「有難し」という仏教語である。

出典は『法句経(ほっききょう)』の、「ひとの生をうくるはかたく、死すべきものの、生命あるもありがたし」である、と言われている。

人と生まれた生命の驚きを教える教説である。だから「有り難し」とは、その仏説を聞き、人の生命の尊貴(そんき)さへ目覚めた、大いなる感動を表す言葉でもある。

それがいつしか感謝の意に、転用されるようになったのである。先人のこのような宗教的心情を想う時、日本語の中でも、特にすぐれた美しい言葉であると思う。

延塚知道 大谷大学教授・真宗学 大谷大学発行『学苑余話』生活の中の仏教用語より

ひと言メモ

至徳の風 静かに 衆禍の波転ず

前号に記載した言葉ですが、その表されている意味あいを記します。

『至徳の風』(この上ないすぐれた徳の風)ともたとえられ、『衆禍の波』(人間の煩い、悩みからの迷いの生活)を転じて、静かに救いの世界へと到らせてくれる、と親鸞聖人が教行信証の中で述べられている言葉です。ちなみに、この『至徳』という言葉は浄慶寺の山号になっています。至徳山浄慶寺です。



行事予定

- 修正会 令和2年1月5日(日) 13時30分から
- 春の彼岸法要 3月20日(祝・金)
本堂開放 3月17日(火)~22日(祝・金)
- 永代経法要 5月16日(土)~17日(日)
- 盂蘭盆会法要 8月13日(木)~15日(土)
本堂開放 8月11日(火)~15日(土)
- 秋の彼岸法要 9月22日(祝・火)
本堂開放 9月19日(土)~22日(祝・火)
- 報恩講準備(おみがき) 11月11日(水)
- 報恩講 11月14日(土)・15日(日)
- 年末本堂開放 12月26日(土)~29日(火)

文芸欄

※このコーナーに、川柳・短歌・俳句などを、お寄せください。

身に覚えあつて歯切れが悪くなる

確と見た民を見縊びる喉仏

AIに対峙心を磨かねば

身の丈に独り善がりという孤独

川柳

山口由利子



坊守のついで

皆様いかがお過ごしですか。

さて、浄慶寺には松の木に並んで梅の木も大変立派です。毎朝の清掃で、しだれ梅の落ち葉を掃除していますが、その時に感じたことについて書こうと思います。

浄慶寺の梅は2月中旬に満開となり、寒さで凍てついた心に柔らかな温かさを与えてくれます。

その後に花が散る様子は、冬の終わりを告げているように感じます。5月頃には生き生きとした

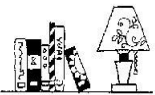
葉が生い茂ります。9月10月は、年々風が強くなる台風のせい、一気に葉は散り、

11月の報恩講の講の頃には全ての葉が落ちます。

冬の間、葉は一枚もないのですが、枝はしっかりしています。また、梅の木は、私に

季節の移り変わりを教えてくれるだけでなく、スズメやメジロといった小鳥も遊びに

来ていて、都会の中でも自然を感じさせてくれます。



編集後記

新たな年を迎え、今年の目標は？と考える事であります。皆様も、息災に過ごされますことを祈念しております。じょうけいに、寄稿をお待ちしております。

本堂で通夜・葬儀ができます

お寺本堂での通夜・葬儀を希望する場合は以下の手順です。

①下記の何れかの葬儀社を選択して、『浄慶寺の門徒です。本堂でお通夜・葬儀を依頼します』とお伝え下さい。

◇みんせい葬祭・福岡市博多区大博町(担当者:竹内)

092-271-7422又は090-1342-0006(24時間受付)

◇お葬式のあおやぎ・福岡市早良区飯倉

(担当者:龍相=りゅうそう)092-865-4400(24時間受付)

②お寺(住職)に、ご一報をお願いします。

(住職携帯電話:090-2318-3268)

※本堂でのお通夜の時間は、午後10時までと、させていただきます。

※お寺での宿泊は出来ませんので、ご了承ください。

じょうけい 第11号

《発行》

真宗大谷派 浄慶寺 大塚展彦

浄慶寺門徒会 川嶋正實

〒810-0063

福岡市中央区唐人町3-10-49

《編集》

浄慶寺寺報編集担当 塩川大一